

空から河川見てみよう

すきなまち 京田辺塾 さんさん山城で写真展



NPO法人すきなまち京田辺塾の写真展「河川は？」

風雨災害の季節！」は4日、障害者就労支援事業所で農福連携センターの「さんさん山城」コミュニティカフェにて同市興戸IIで始まった。

2015年設立の同法人は、わがまちにもっと関心を」と、多彩な活動を繰り広げる。

コロナ前は一休寺に夏休み中の子供たちが集まり、座禅、

玉露を体験する機会を提供。

天井川を巡るまち歩きなども企画・運営し、イベントでブース出展しアピールする。

ブラタモリ京田辺版では同志社大学の学生と地元各地を歩き回った。

これまでも橋本善之幹事愛用のドローンで空撮した写真を並べ、移り変わる街並みや、季節ごとに春爛漫の桜、風薫る田園風景などを展示。

今年も、出水期に合わせ災害がテーマの写真展をスタート。

上空150級のドローン撮影では、市内に5カ所ある樋門をはじめ、木津川、防賀川などの合計15点を並べる。

いずれも周辺の様子と合わせて俯瞰でき、内水排除に必要なポンプなどの説明も書き添える。

橋本幹事は「今、熊本、鹿児島で線状降水帯が停滞している。現在進められる新西浜樋

門と田辺北新市街地の関係もよく分かる」と来場を呼び掛ける。

日替わりワンコインランチは午前11時30分から(なくなり次第終了)。

問い合わせは同法人 0774-397113まで。

【写真—木津川に注ぎ込む天井川と樋門、周辺の様子もよく分かるドローン写真群(さんさん山城)】